

ものづくり体験ツアーを開催

北部産業技術支援センター・綾部(当センター中丹技術支援室)において、8月4日(木)に綾部市が開催する「綾部ものづくり体験ツアー」の一環として、小学生に機器の見学・体験をしてもらいました。

地元の小学生が参加



このツアーは、綾部のものづくりについて知ってもらうため、綾部市が今回初めて取り組んだものです。夏休み期間中の小学生5、6年30人(男14人、女16人)が参加しました。

6つに班分けし、順番に主な機器の目的や特徴を説明した後、実際に機器に触れてもらいました。

- ・【走査電子顕微鏡】蚊・蜂の拡大画像を観察する
- ・【X線透視装置】外から見えないよう封入した金属を透視する
- ・【3Dプリンタ】試作品ができる様子を観察する
- ・【万能材料試験機】金属を引っ張り、強さを調べる
- ・【三次元測定機】金属の寸法を自動で測る
- ・【マイクロ스코ープ】紙幣の偽造防止用マイクロ印刷を見る

電子顕微鏡では、蜂の顔の拡大画像を表示しているモニタを『何これ〜』と言いながら覗き込んでいました。万能材料試験機では、黄銅の試験片を使って引っ張り試験を行いました。



金属が破断する時には大きな音がすると説明を受けていましたが、想像以上の大きさに驚いていました。

夏休みの自由研究に使うのか、熱心にノートにメモを取る児童もいました。積極的に質問をする児童はあまりいませんでしたが、見たことがないほど拡大された画像や自動制御された機器の動きを見て、歓声を上げていました。

1つの機器につき15分という短い時間でしたが、印象に残った半日だったと思います。

アンケートの結果から

何も知らない小学生にいかに楽しんでもらえるか、職員が知恵を絞った結果、すべての機器について6割以上の児童に『おもしろかった』という感想をもらいました。



特に好評だったのがマイクロSCOPEでの体験です。花びら等の身近にあるものを持ってきてもらい観察したため、他の測定機器に比べると分かり易かったからだと思われます。

《主なアンケート結果》

参加のきっかけは？	
・自分から	… 17%
・友達に誘われて	… 27%
・親にすすめられて	… 57%
参加しての感想は？	
・とてもよかった	… 97%
・まあまあよかった	… 3%
・期待したほどでなかった	… —
特に面白かった・勉強になったのは？(複数回答)	
・走査電子顕微鏡	… 77%
・X線透視装置	… 63%
・3Dプリンタ	… 63%
・万能材料試験機	… 77%
・三次元測定機	… 70%
・マイクロSCOPE	… 87%
また参加したいですか？	
・はい	… 77%
・いいえ	… —
・分からない	… 23%

体験ツアーを終えて

中丹技術支援室は、設立してから5年を迎えます。これまでは企業へのPRに努めてきましたが、一般の方に施設内を見もらう機会はほとんどなく、今回が初めてでした。

最初は小学生に理解してもらえるか心配でした。親に言われて参加した児童が多かったのですが、来てみると意外に面白かったという様子でした。

この日は、普段見ることがない試験装置に触れることによって、ものづくりに興味を持ってもらうきっかけになったと思います。

またこのような機会があれば、当センターだけでなく実際の工場の生産現場も見てもらい、ものづくりへの興味・感動を与えることができると思います。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
中丹技術支援室

TEL:0773-43-4340 FAX:0773-43-4341
E-mail: chutan@mtc.pref.kyoto.lg.jp